

# ベトナム最新情報

2018年7月26日（木）

— 通巻4359号 —

## 目次

- 政治・経済
  - = ベトコンバンク、「日越ビジネスマッチング商談会」を開催
  - = 自動車メーカー各社、販売店網の拡大を急ぐ
  - = ベトナムの農業実習生、日本政府は積極受け入れを継続
  
- 社会・トレンド
  - = レジェンドと呼ばれる日本人医師、ダナンで無料執刀
  
- 一口ニュース（6件）
- 為替・証券市場動向
- 入札情報
  
- 事件・出来事
  - = 韓国人を恐喝し、お金を奪った偽公安を逮捕
  
- コラム
  - = 営業マンの宿命、苛酷な飲食接待（前編）

**\*\*\*\*\* 政治・経済 \*\*\*\*\*****ベトコンバンク、「日越ビジネスマッチング商談会」を開催**

ベトナム外国貿易商業銀行(Vietcombank)は、ハイフォン市投資計画局と協力し、「日本 - ベトナム ビジネスマッチング商談会 2018」を開催した。

このプログラムの主な目的は、生産、輸出入、不動産、物流サービス分野で、日本とベトナム双方の企業・投資家間での投資およびビジネス活動を結び付けることで、市内にある日本の FDI 企業と国内企業の相談窓口として、企業の投資・ビジネス活動を支援するための金融ソリューションを提供する。

ハイフォンでは現在、日本の FDI はプロジェクト数でトップ、市への投資額で 2 位となっている。日本の投資プロジェクトは常に高く評価され、人材の意識と品質の向上に貢献している。また日本政府も、海港の改修や交通の開発でハイフォンを支援することに強い関心を持っている。

ベトコンバンクの副頭取で取締役会のメンバーでもある佐々木英二氏によると、日本企業のベトナム進出増加に伴い、日本の顧客は現在、ベトコンバンクにとって重要な取引先となっていると述べた。

(Nguoi Lao Dong 7 月 25 日,P.8B)

**自動車メーカー各社、販売店網の拡大を急ぐ****【トヨタ】**

Toyota Motor Vietnam 社は、4 月と 5 月にハイフォン市と Quang Ninh 省でディーラーを増やし、ディーラー数は全国 22 省市 50 店舗となった。

2017 年にトヨタは、ベトナム自動車市場 2 位の地位固めを狙いカスタマーサービスを強化、顧客に直に接するレセプション、サービススタッフ、キャッシャーから警備員に至るまで、全ての従業員に日本式の顧客サービス「おもてなし」のトレーニングを行っている。

この販売網拡大競争のなかで Toyota Motor Vietnam 社は、多くの購入客・サービス利用者を集めている。2017 年には 114 万人がディーラーのサービスを利用しており、これまでの累計は 870 万人に達した。

顧客を惹きつけるために、ディーラー網拡大とともにトヨタは、60 分のスピードメンテナンスや純正エアコンの清掃など、サービスの質向上に取り組んでいる。

**【ホンダ】**

2018 年 6 月上旬だけで、Honda Vietnam 社は Son La 省と Ninh Binh 省に 2 つのディーラーをオープンした。

北部でのディーラー網拡大戦略の一環であり、現在全国各地に 29 のディーラーを置く Honda Vietnam は、今後も更にディーラーを増やしていく意向だ。

### 【フォード・メルセデス・GM】

Ford Vietnam 社は、4月に37店舗目のディーラーを開店するとともに、Dong Nai Ford の改装を行った。

Mercedes-Benz Vietnam 社は14の販売・サービスセンターを持っており、高級車としては最も大きなディーラー網を構築している。2015～2016年にディーラー網の再構築を実施、顧客層に合わせた対応を行い、予約受付や移動のサポート、高級感のある待合室では飲み物や軽食などが無料で提供され、無料WiFiやマッサージチェアもある。

Mercedes-Benz Vietnam 社の資料によると、2017年に同社のディーラー網では5万4,000件近くのサービスを提供している。1日180件の計算だ。

顧客に新しい体験をもたらすサービスを強化するなかで、今年 Mercedes-Benz Vietnam 社は、アイテムの若返りと、若年層や女性向けの販売を強化し、同時に Vinh 市と Binh Duong 省、カントー市にそれぞれ販売・サービスセンターをオープンした。

GM のベトナム事業を買収した VinFast は、設備や人材、サービスの整ったディーラー 22 店舗を獲得した。譲渡は今年末には完了し、引き続き、VinFast とシボレーの両ブランドを扱いつつ拡大していく計画。

### ■中古車

各社は新車だけでなく、中古車販売にも力を入れ始めている。

トヨタは Toyota Sure というブランドで、中古車の正規流通網に投資している。すでにハノイとホーチミン市の3つのディーラーで中古車事業を行っており、今年は、このブランドのPRと中古車に対する認証・保証書の発行を進め、2019年にはさらに店舗を拡大していく考えだ。

Mercedes-Benz Vietnam 社は、中古車販売センターを新たに2店舗開業し、中古車を扱うディーラー数を計10店舗に広げている。

Choi Duk Jun 社長は、ディーラー網の拡大は、ベトナムでの持続的な発展に必要な戦略的なステップで、そのなかで中古車は、顧客が安全に整備された手頃な価格で、Mercedes-Benz を所有できる有効なチャンネルになるとしている。

同様に中古車市場を狙って Ford Vietnam 社も投資を強化している。

同社の Pham Van Dung 社長によると、ディーラーでは新車も中古車も、銀行ローンの相談、中古車の査定、保証、純正部品の提供まで、自動車に関連するあらゆる商品・サービスの提供を受けられる。Ford は、最高品質の商品を最良のサービスとともに顧客に提供するという、商品・サービスの多様化を世界的な方針としている。

(Doanh Nhan Sai Gon 7月11～17日,P.34)

## ベトナムの農業実習生、日本政府は積極受け入れを継続

日本ベトナム友好議員連盟特別顧問の武部勤氏は、最近行われた労働傷病兵社会福祉省の Doan Mau Diep 副大臣との会談で、日本はベトナムの農業実習生の受け入れを、引き続き積極的に行っていくと述べた。

武部氏によると、北海道は日本で最も農業生産の開発基盤のある地域で冬が長い。実習生の農林水産業での実習時間は制限され、実習に割り当てられる仕事は年間を通して厳しい。

しかし、実習生は農業分野のみならず、他の関連分野でも年間を通して実習があり、収穫から生産、加工、梱包、スーパーでの仕事まで、プロセス全体を理解することができる。

日本の東亜総研は 2 年前、中央ベトナム農民協会と、農業・林業・漁業、農村開発の分野で、両者が『食糧生産、農・林・漁業の開発、農村建設』事業で人材を交換することに合意した。

しかし武部氏によると、農民協会が労働者を派遣する組織や会社ではないことが障害となっており、農民協会の若い役員たちを日本に呼び、実習生のように研修するというアイデアを、どのように実現するか取り組みたいという。

日本は現在、労働力不足が深刻化しているため、実習生としてではなく一般労働者として受け入れられないかという要望も出ているが、これは実習生の枠組みから外れてしまうため日本政府として実現は難しいという。

実習生として 1 年、ないしはそれ以上の期間、日本へ農民協会の若い役員を派遣する考えに関して、Diep 氏は労働傷病兵社会福祉省としても全面的に協力したいと述べた。

「彼らを実習生として日本に派遣することは難しい問題ではありませんが、重要なことは、どのように組織するのか、事前に日本語検定 N3 や N4 を取得するのか、どのような形で日本での 1 年間の実習期間を支援するのかということです。このアイデアを実現するためにこれらを具体的に議論する必要があります」と話した。

(Nguoi Lao Dong 7 月 22 日,P.9)

## \*\*\*\*\* 社会・トレンド\*\*\*\*\*

### レジェンドと呼ばれる日本人医師、ダナンで無料執刀

臓器移植の世界的権威で、生きたレジェンドと呼ばれる幕内雅敏医師は 7 月 23 日、Da Nang 癌病院で、患者 T さん(Lam Dong 省 Bao Lam 出身 61 歳)の膣頭十二指腸切除術を無料でを行い成功させた。

この複雑な手術は 8 時間に渡り、ダナンにある多くの病院の医師たちは、幕内先生独自の特別な手術を直接目にした。幕内医師はこれまで 600 件の肝臓移植を含む約 5,000 件の

手術を成功させている。

彼は 1993 年に世界初の成人生体肝移植に成功させた医師で、2004 年にベトナムで初めて肝臓移植を行った実績もある。

彼はダナンの若い医師を訪れ、肝臓、胆嚢、膵臓手術の技術を共有し、また過去数十年間に日本・アメリカ・ヨーロッパ、そして世界で培った彼の強みである専門性と肝臓移植の技術伝承や、ベトナムの医師たちへの支援を望んでいると述べた。

具体的には日越医学医療連結協力協会(2018年5月設立、幕内医師は名誉教授)を通して、日本とベトナムの現代医療技術の移転協力プログラムを数多く実施する予定。

同協会は引き続き、幕内氏から直接専門技術を教わり、ダナン病院で肝臓移植技術の移転と支援を行い、2018年8月には幕内氏および日本有数の肝臓・胆嚢・膵臓の外科医の直接の指導の下、ここに肝臓移植の専門チームを立ち上げる予定だ。

一方で協会は、ダナンに中部地域の移植センターを設立するため、移植を行う高度な専門チームの立ち上げと育成、人材拠点を作ることにについて、ダナン大学薬学部と現在調整を行っている。

(Thanh Nien 7月24日,P.4)

\*\*\*\*\* 一口ニュース \*\*\*\*\*

**ベトナム縫製グループ Vinatex は今月 24 日、ハノイに衣服専門のショッピングセンターを開店した。面積 2,500 m<sup>2</sup>で、全ての商品はベトナム製。Viet Tien、Viet Thang 等有数の国内ブランド 60 社が出店する。**

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 7月25日,P.3)

**ハノイ市人民委員会は 2020 年までに市内で、自動販売機 1,000 台を設置することを許可した。これらの自動販売機は G7 の国々の標準を満たすもので、需要によって 1 カ所に 4 台設置するケースもある。**

(Dau Thau 7月24日,P.3)

**Ba Ria-Vung Tau 省税関支局は Cai Mep-Thi Vai 港で 100 パッケージのコカインが入った「くず鉄」で申請されたコンテナを発見した。これらのコカインは末端価格 8,000 万ドル。この船はリベリア船籍で、ベトナムに寄港する前に、他の 3 カ国に寄港した。**

(Thanh Nien 7月25日,P.3)

Tay Nguyen 地域の Dak Lak 省人民委員会によると、現在計 31 件の風力発電開発プロジェクト(総出力 2,605MW)が省内に展開されている。先日、新しい 2 件への投資が承認され、約 1 億ドルを投資し、1,700ha の敷地に総出力 60MW のプロジェクトを計画している。

(Tuoi Tre 7 月 25 日,P.7)

国産コーヒーブランド Trung Nguyen International (TNI)は初めてのコーヒーショップ『King Coffee』を Tay Nguyen 地域の Gia Lai 省 Pleiku 市にオープンした。コーヒーの生産拠点である同省のイメージが再現されたこの店は面積 1,200 m<sup>2</sup>で、国際品質基準を満たしており、コーヒーの展示館、試飲コーナーなどの各種サービスが用意される。

(Thanh Nien 7 月 24 日,P.9)

コンピューターセキュリティ Bkav 社の新製品である国産スマホ『Bphone 3』は日本のメイコー社(電子基板メーカー)によって組み立てられる。数週間後に生産を開始し、年末に発売する予定。低価格帯で販売されるため、他ブランドの同機種との激しい競争になると専門家は見ている。

(VnExpress 7 月 24 日)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,220 ドン/USD <国家銀行中心レート 22,649 ドン/USD> (7 月 26 日 11 時 30 分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 923.29 (▼-4.29/-0.46%) VN 30 911.01 (▼-4.67/-0.51%) (7 月 26 日前場終値・ホーチミン市証券取引所)

**\*\*\*\*\* 入札情報 \*\*\*\*\***

**【施工】 Ca Mau 省東側と西側を結ぶ道路(第 4 期)**

(Ca Mau 省人民委員会承認 2018 年 7 月 13 日付文書 1112/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
施工 (Cay Dua 橋、 Dong Tren 橋)	399 億 8,864 万ドン	国債 など	国内公募 入札	2018 年 第 3 四半期	調整 単価式	900 日
施工 (Mo Coi 橋、 Ong Chu 橋)	436 億 6,260 万ドン					

投資主：Ca Mau 省交通施設建設プロジェクト管理委員会  
(電子入札システム 7 月 16 日)

**\*\*\*\*\* 事件・出来事 \*\*\*\*\***

**韓国人を恐喝し、お金を奪った偽公安を逮捕**

ダナン市 Hai Chau 区公安は 7 月 21 日、強奪容疑で Le Thi Lua(34 歳)、Nguyen Nhu Bao Thu(23 歳)、Huynh Tan Nhon(39 歳)の 3 人の身柄を拘束した。Lua は会社社長、Thu はその社員でこの 2 人はレズビアンだという。

7 月 19 日、このグループは Hai Chau 区 Tran Phu 通りの高級マンションに侵入し、ここに住む韓国人の J さん(55 歳)を探し出した。グループは自分たちが公安だと名乗り、J さんを 360 万ドルの強盗と逃亡の罪で逮捕すると脅した。

Lua は 1 万ドル払わなければ連行すると言ったが、この時マンションには J さんの妻と子供がいて泣いたため、J さんは 1 億 500 万ドン(約 4,773 ドル)を Lua に差し出した。

翌日、Lua が残金を渡すよう要求し、このマンションに戻ったところを、張り込み中の公安に逮捕された。

Lua は供述で、J さんが犯罪者だという情報を Lee(経歴不詳)から得て、グループでの揺すりを計画したと言う。Lua は奪ったお金から 2,300 万ドン(約 1,046 ドル)を Lee に渡していた。

(Thanh Nien 7 月 22 日,P.3)

## \*\*\*\*\* コラム \*\*\*\*\*

**営業マンの宿命、苛酷な飲食接待（前編）**

「ビジネスはお客との人間関係が全てです、それが上手くできないと仕事は長続きせず、いつか途切れてしまいます。もちろん最初の潤滑油はビールであり、酒です」。これは、今でも多くの営業マンにとっての現実だ。

5年ほど前までは、しばしば企業は場の雰囲気作りのために調達した“レディー”を宴席に侍らせ接待したものだ。しかし、最近はそれも微妙になってきた。

折角金を使って宴席を設け、落とし所を見つけるため「キメの接待」に持ち込んでみても、客がレディーに気を向けてしまっただけでは、話を切り出すこともできず、むしろ邪魔になる事もあり、接待の手法が変わってきた。

**■ビジネスは、すべて接待テーブルの上**

Oanhは身長が180cmで屈強な体格の持ち主だ。かつては油田の掘削をしていたが、酒は全く苦手で、勤め先の外資企業も社員の飲酒による泥酔は固く禁じていた。

この5年間で石油業界が低迷したことからOanhは脱サラを決め、原油掘削の経験を活かし、この業界で物資を販売する会社を設立した。

その後、彼は接待で飲む機会が急速に増えた。

「ベトナム国内のビジネスで、自分の意向を押し込んで契約しようとするれば、酒なしには何も前には進みません。もちろん最初の一杯目はビール、そして白酒です！私に1週間同行したら、どんなにこの仕事がハードかすぐ解りますよ」と、Oanhは豪快な笑顔で、私に大きな手を差し出した。

それから待つこと2日、不具合が出る10億ドン（500万円）の輸入機械の修理を依頼したハノイの会社の技術者を迎えに、Vung Tauからホーチミンまで車を飛ばして来たOanhは、1区のTon Duc Thang通りにあるロシア料理のレストランを接待の場所を選んだ。

挨拶からしばらくの間、4人の客は静かで神経質そうにしていたが、ウイスキーのMacallan 18年物を2本空けた頃には誰もが饒舌になり、場の雰囲気に連帯感が生まれていた。

自宅に珍味に漬けた甕酒が300リットルあると誇る者、農場を持っていると自慢する者、共産党のお偉いさんを沢山知っていると威張る者など、みな意気揚々としていた。

Oanhは相手の様子を見ながら、親分然とした客に狙いをつけ、「ハノイからのご出張に感謝しています。今回は私のためにひと肌脱いでください。修理が上手く行けば一安心です。ひとつよろしく願います」と、杯を交して挨拶した。

客は、「まあ、大丈夫ですよ。今回の作業は大した事じゃない。先ずは酒だ、酒ですよ」と笑顔で応じていた。



Oanhは電話を取り指示を出すと、すかさず運転手が部屋にMacallan 18年を4本持ってきた。6人とも、すでにいい具合に酔っているので、18年物のウイスキーは水のように瞬く間に消えていった。

この店で接待が始まり4時間、私たち6人は魚のスープに少し箸をつけただけで、あとはひたすら6本のMacallanを飲み、男同士のたわいもない話して盛り上がった。

宴会の最後に、OanhはMacallan18年のボトル2本と「心づけ」の入った小さな封筒をお土産に渡し、客をホテルに送り届けた。

### ■強靱な体力と飲み力で仕事を受注

むかつく嘔吐が続き、私がベッドでぐったりしていた夜明け頃、誰かがドアをトントンと叩く音が聞こえた。その日、OanhはVung Tauのお客と大事な契約があると言い、朝の5時頃2人は急ぎホーチミンを後にした。

7時過ぎ、豚の臓物粥で有名なCay Bang (Vung Tau 市30/4通り) に着いた。私を席に案内したOanhは、「お客の爺さんは、豚の臓物に目がなくて、白酒が大好きなんだ。驚くほど飲むから、先に粥を軽く食べておこう」と言った。

2人のお客を挟み、私たち4人は昼頃までに、750mlの白酒“Cuoc Lui”を4本飲みきった。

「ここは暑いな～、海の方に行って冷たいビールでも飲んで涼まんか？」と提案する客。「いいですね～、行きましょうか」と応ずるしかない我々2人。

そして、Tran Phu通りのGanh Haoに移動した。

昨夜飲んだMacallanウイスキーと今朝の白酒Cuoc Luiで、アツアツになった胃と肝臓に冷たいビールは心地よく、私は一気に流し込んだ。

Oanhと行動を共にしてから一週間、毎日こんな日が続いた。

私は、昼前であろうが夜中であろうが、Sai Gon、Vung Tau、Dong Nai、Binh Duongのいたる所へOanhに同行し、客の接待に出向いた。そして、飲んで、飲んで、ひたすら飲んだ。

客には色々な階層、役職の人たちがいた。メコンデルタのどこかの省から来たブローカーのX氏、Sai Gonで約束したY社長、官僚のZ氏や村・県の小役人まで様々だった。

レストランに入りVIPルームでウイスキーを飲むこともあれば、大衆が行くその辺に良くある貝の店で、缶ビールを延々と飲むこともあった。

Oanhは杯を重ねる理由作りに事欠かない。同郷ですね、同じ歳ですね、好きなサッカーチーム一緒ですね、妻の歳が同じですねと言っては、杯をカチンと合わせて飲み続ける。

接待が終わって少し日が経つと、副社長からOanhへ報告が入る。「Aの案件、Bの案件、先方からOKの返事をもらいました、社長」、というものがほとんどだった。

私はと言えば、接待した翌朝は決まって繰り返し吐き、頭痛が伴う冴えない日が続いた。

(Nguoi Lao Long 7月16日, P.10)

次号：営業マンの宿命、苛酷な飲食接待（後編）に続く